令 和 8 年 （ 2026 年 ） プ レ ス 災 害 発 生 状 況

令和8年(2026年)10月末現在

1. 地区別

	20年～24年	25年～29年	30年～R4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計	比率
燕地区	70	53	63	11	10	6	6		33	57.9%
燕	55	32	45	7	10	4	3		24	42.1%
(吉田)	13	16	12	3	0	1	3		7	12.3%
(分水)	1	2	1	0	0	0			0	0.0%
弥彦	1	3	5	1	0	1			2	3.5%
三条地区	39	19	26	7	5	9	3		24	42.1%
三条	29	11	26	7	5	9	2		23	40.4%
(栄)	7	6	0	0	0	0	1		1	1.8%
(下田)	3	2	0	0	0	0			0	0.0%
加茂地区	4	5	8	0	0	0	0		0	0.0%
加茂	3	3	4	0	0	0			0	0.0%
田上	1	2	4	0	0	0			0	0.0%
見附地区	1	0	2	0	0	0			0	0.0%
合計	114	77	99	18	15	15	9		57	100.0%

2. 事業場規模別

	20年～24年	25年～29年	30年～R4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計	比率
1～9人	38	33	34	5	6	6	3		20	35.1%
10～29人	44	24	45	6	7	5	2		20	35.1%
30～49人	13	6	7	2	0	1			3	5.3%
50人以上	19	14	13	5	2	3	4		14	24.6%
合計	114	77	99	18	15	15	9		57	100.0%

3. プレス機械の種類等

種類	20年～24年	25年～29年	30年～R4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計	比率
ポジティブクラッチ	44	26	25	5	4	5	1		15	26.3%
フリクションクラッチ	46	35	54	7	9	9	6		31	54.4%
液圧プレス	9	5	1	2	0	0	1		3	5.3%
プレスブレーキ	12	9	11	2	2	1	1		6	10.5%
その他のプレス	3	2	8	2	0	0			2	3.5%
合計	114	77	99	18	15	15	9		57	100.0%
起動方式(災害発生時)										比率
両手操作	11	8	13	1	0	0	1		2	3.5%
片手操作	4	1	2	0	0	1	1		2	3.5%
足踏み操作	97	67	83	17	14	14	7		52	91.2%
その他	2	1	1	0	1	0			1	1.8%
合計	114	77	99	18	15	15	9		57	100.0%

4. 安全措置状況

		20年～24年	25年～29年	30年～R4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計	比率
(状態として)安全措置あり	安衛則第131条第1項措置	24	10	7	2	3	3			8	11.6%
	安全囲い	13	6	4	2	2	3			7	10.1%
	安全金型	0	0	0	0	0	0			0	0.0%
	専用プレス	0	0	1	0	0	0			0	0.0%
	自動プレス	5	1	2	0	1	0			1	1.4%
	安全プレス	6	3	0	0	0	0			0	0.0%
	安衛則第131条第2項措置	61	46	103	14	19	12	7		52	75.4%
	ガード式	3	1	12	1	0	0			1	1.4%
	両手操作式(FC)	2	2	21	2	8	2	1		13	18.8%
	両手起動式(PC)	2	3	7	0	1	1			2	2.9%
	光線式	34	35	52	9	8	9	6		32	46.4%
	手引き式	4	0	1	0	1	0			1	1.4%
	手払い式	11	3	5	0	0	0			0	0.0%
	PSDI	0	0	0	0	0	0			0	0.0%
	手工具	5	2	5	2	1	0			3	4.3%
安全措置なし		40	7	14	4	1	2	2		9	13.0%
合計		125	63	124	20	23	17	9	0	69	100.0%

注・1台に複数の安全装置がされている場合も含む。安全装置があり、「不使用」「切」「調整不良」も「安全措置あり」に含む。

5. 作業の種類

	20年～24年	25年～29年	30年～R4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
定常作業(抜き・切断・曲げ・絞り等)	89	63	85	16	14	13	7		43
非定常作業(金型取り外し等)	25	14	14	2	1	2	2		5

6. 災害発生原因

		20年～24年	25年～29年	30年～R4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計	比率
不安全な状態		92	54	61	10	15	12			37	44.6%
	安全装置なし	16	14	15	4	10	5			19	22.9%
	プレス機械の故障等	1	3	1	1	0	0			1	1.2%
	安全装置の故障	1	2	1	0	0	1			1	1.2%
	安全装置の不備(調整不良)	25	18	17	3	3	5	4		15	18.1%
	作業方法の欠陥	41	13	25	1	1	1	3		6	7.2%
	その他	8	4	2	1	1	0			2	2.4%
不安全な行動		90	47	64	10	10	16	3		39	47.0%
	安全装置を無効にする	41	24	35	10	5	5	1		21	25.3%
	安全措置の不履行	19	12	19	0	3	8	1		12	14.5%
	その他(金型の取付・取外・調整を含む)	30	11	10	0	2	3	1		6	7.2%
合計		182	101	125	20	25	28	10		83	91.6%

(注) 不安全な状態と行動は両方該当する場合も記入してある。(災害発生件数と一致しない。)
(注) ○印の数字は死亡者数を表す。

【プレス災害発生状況】（プレスの種類で、FCプレスは、フリクションクラッチプレス、PCはポジティブクラッチプレスと種類を略称している。）

R8．1　FCプレスにて、製品への傷防止のため、下型にビニールを掛ける作業中、バランスを崩したことによりフートスイッチを踏んでしまい負傷した。光線式安全装置を無効とし、両手操作式（FC）安全装置も使用していなかった。

R8．3　FCプレスにて、鋼材に刻印する作業中、セットした後の鋼材を手を離す前にフートスイッチ踏んでしまい、降下したプレスの上型と下型の間に指が挟まれた。光線式安全装置の防護範囲外から手を入れたもの。

R8．3　FCプレスにて、鋼材を曲げ加工中、供給した後の鋼材を手から離す前に押しボタンを押したため、降下したプレスの上型と下型の間に指が挟まれた。光線式安全装置の防護範囲外から手を入れたもの。

R8．4　FCプレスにて、材料を加工中、当該材料を右手で入れて、左手で取ろうとした際に、フートスイッチを踏んでしまい、降下したプレスの上型と下型の間に指が挟まれた。光線式安全装置の防護範囲外から手を入れたもの。

R8．5　プレスブレーキにて、2mの鋼板を曲げ加工中、材料をセットする際、身体のバランスを崩してしまい、指がプレスブレーキの上型と下型の間に入った状態で、フートスイッチを踏み負傷した。

R8．6　PCプレスにて、L型鉄材を切欠き加工中、材料を正しい向きにセットせず、フートスイッチを踏んだため、跳ねた材料が被災者の指に当たった。

R8．6　FCプレスにて、フートスイッチにより鋼材を手で持って奥に送りながら抜き加工作業を行っていたところ、光線式安全装置が適切な位置になかったため、最後の抜き位置で材料を保持していた指がプレスの上型と下型の間に挟まれた。

R8．7　液圧プレスにて、金型取り付け後、製品を金型から外すための押さえを押し下げる調整ネジが所定の長さより長かったため、押さえが通常より押し下げされたことにより、上型も押し下げられてしまい、上型を固定していたネジが破損し、上型が外れて製品を拾おうとしていた被災者の腕に落下した。

R8．9　FCプレスにて、寸動による試し打ち作業中、金型の位置調整のための定規を、プレスの金型ガイドのシリンダーとその受け口の間に挿し入れたまま休憩した。休憩終了後、引き続き同作業を行い、プレスの両手操作ボタンを押したところ、当該シリンダーが降下し、その際、シリンダーとその受け口の間に定規が挿し入れたままとなっていたため、受け口が破損。この破損した一部が飛来し、被災者の顔に当たったもの。